

平成27年度 基礎看護学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

辻 幸代、中納 美智保、和田 幸子、
高木 みどり、松下 直子、丸上 輝剛、
山根木 貴美代

B. 研究活動の概要

このユニットは、看護ケアの開発や改良に寄与することを目的とした基礎的研究及び看護基礎教育への貢献を目的とした看護技術に関する研究を研究課題としている。

平成27年度は、主として個人での研究活動を行った。研究テーマは、継続して実施している足浴がもたらす生体への影響やリラクゼーションをテーマにした研究を行った。科研費の獲得は1件で、平成26年度より継続の研究課題である。

研究費獲得状況

平成26-28年度科学研究費補助金 基盤研究
(C)、中納美智保、辻 幸代、「皮膚洗浄法による温熱刺激・機械的刺激・化学的刺激が皮膚バリア機能に及ぼす影響」
(研究課題番号：26463225)

C. 研究業績

学会発表

高木みどり、山本弘恵：成人慢性期実習前後における概念イメージの変化，第25回日本看護学教育学会学術集会，徳島，2015.8

中納美智保、辻 幸代、松下直子：成人女性における手背と背部の皮膚生理機能の比較－皮膚温・経表皮水分蒸散量・角層水分量・pH・皮脂量－，第14回日本看護技術学会学術集会，愛媛，2015.10

Midori Takagi, Yumiko Nakai, Tomoko Nakamura, Susumu Sakata: Effects of Upper Arm-warming on Cerebral Electric Activity: An EEG Study, INC 10th 2015.10 in Korea

中納美智保、辻幸代：男性と女性の皮膚生理機能の比

較，第35回日本看護科学学会学術集会，広島，2015.12

高木みどり：上腕温罨法が脳電気活動に及ぼす影響－リラクゼーション効果との関連－，第35回日本看護科学学会学術集会，広島，2015.12

山根木貴美代、辻 幸代：温罨法を取り入れた足浴の皮膚生理機能への影響，第35回日本看護科学学会学術集会，広島，2015.12

その他

中納美智保：看護実践の経験の意味づけからみたキャリア初期看護師の職業的アイデンティティの形成プロセス，大阪府立大学看護学研究科博士論文，2015.3

D. その他

辻 幸代：認定看護管理者教育課程ファーストレベル「看護情報論」講師，奈良県看護研修センター，2015.7～8

辻 幸代：保健師助産師看護師実習指導者講習会講師，和歌山県看護研修センター，2015.6～7

中納美智保：看護研究指導，大阪府済生会富田林病院，2015.4.